

トンガはいま夏、暑い日が続いています。でも日本のように 35°C を超えるような日はありませんし、熱帯夜も滅多にありません。日差しは強いですが、日陰に入ると快適です。私はトンガの気候がとても気に入っています。

最近、私のお気に入りのビーチを見つけました。日曜日に行くのですが、人はほとんどおらず、一日のんびりできます。但し、少しだけお金がかかります(日本円で 500 円くらい)。その代わりに、トイレと小さな小屋・ヤシの木・椅子があるので、日陰でのんびりすることが出来ます。他のものは何もありません。昼食・飲み物・本・楽器などを



持って、友人と出かけ、誰にも邪魔されずにヤシの木陰で本を読んだり、ウクレレの練習をしたり、海を眺めたりしています。

目の前は白い砂浜と、その先にはサンゴ礁が広がっています。満潮時には波が波打ち際まで来ますが、干潮になると水深が膝の高さくらいまでになり、サンゴ礁の先端付近まで歩いていくことが出来ます。とても

1 月半ばの日曜日の夜にインターネットが突然繋がらなくなりました。我が家だけかと思ったら、トンガ全土で繋がらなくなったようです。電話も国際電話ができなくなり、国内の通話やショートメールの交信も一時繋がりにくくなったようです。原因が判明するまでに 3 日かかりました。フィジーとの間にひかれている海底ケーブルが切断されたようです。国際電話等は通信衛星の回線を利用してすぐに繋がるようになりましたが、インターネットの全面回復には 2 週間を要しました。

日本でもインターネットが使えなくなってしまうたら、どんな混乱が起こるかわかりません。トンガでもインターネットは職場、家庭で欠かせないものとなっています。私の活動している気象局では、稼働しているのは気象衛星「ひまわり」のシステムだけで、他の予報資料がほとんど入手できない状況になってしまい、気象予測が非常に難しい状況になってしまいました。サイクロンでも来たら大変でした。

メールもできません。仕事上の他の職場からのメール、個人のメールもできません。

家庭でもニュースが入ってくるのはテレビだけ。それも 30 分間の英語ニュースで、トンガ国内のニュースやスポーツニュースが多く、海外のニュース、特に日本のニュースは全然入ってこない状況でした。いつもはインターネットを通して様々なニュースが入ってきますし、Facebook や Line、メールからも情報が入ってきますが、それらが一切なくなりました。ちょっとした調べものもできない状態です。

インターネットが繋がっているときにはあまり心配しなかった親族の健康状態のことや日本の留守宅のこと、日本での出来事などが気になってきました。

前にも述べましたようにトンガでもインターネットが広く普及し、スマートホンほとんどの人が持っていますし、Wi-Fi もホテルなどでは繋がるのが当たり前です。ほとんどの家庭ではトンガに 2 社ある通信会社のどちらかと契約して Wi-Fi につなげることが出来ます。何もすることがなければ皆さんスマホでゲームをしたり、音楽を聴いたり、動画を見たり、Facebook や Line 等

をみたりしています。ですから、今回のインターネットが繋がらなくなったという被害は、国中に広がるかなり大きいものなのではないかと思っています。

また、今回のことを通じて、現在の私の生活がいかにインターネットに頼っているかを思い知らされました。少なくとも15年前ならば、海外での生活でもまだインターネットに頼らずに何の不安もなく生活していたはずですが、それが一度インターネットに慣れてしまうと、それがなくなった時に非常に不安に感じてしまうのですから技術の進歩とは恐ろしいものです。